

かいたく

教会のない地域に教会を 刈り入れ場に働き人を



「世にあつては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」

(ローマ十六章三十三節)

三十三年前、掛川で伝道を始めた頃のことです。別の教会に通う人が来て、私たちの信仰の立場を質問してきました。私は、「神が天地万物を創造し、イエス・キリストは処女から生まれ、私たちの罪のために十字架で死なれ、三日目によみがえられました。」と答えました。また、「私たちは偶像崇拜をしません。ですから、お祭りにも参加しません。」と伝えました。すると、その方は、「そんな姿勢でこの掛川で教会を建て上げられるならばやってごらんなさい。」と捨てゼリフを残して帰って行きました。その時から多くの月日が流れました。その間、時代は変わって祭りは少子化によって下火になるだろうと期待しましたが、町おこしと地域のつながりの強化のために、祭りはますます盛んになっていきました。町内会に加わると勝手に氏子扱いされ、町内の組長(班長)になると氏子総代のリストに名前が記載され、近所の神社の祭事や清掃に駆り出されます。もちろん、私はそれらのすべてを断っています。私が牧師とすることと理解をしてくれません。しかし、教会の信徒たちは私以上に戦いがあります。時代は「昭和」から「平成」、「平成」から「令和」になりましたが、この日本はどう変わったでしょうか。教会はこの町にどんな影響を与えたでしょうか。神は高齢のヨシユアに、「あなたは年を重ね老人になった。しかし、占領すべき地は非常にたくさん残っている。」と言われました。私たちのなすべき事はまだまだあります。それを果たしていきましょう。

(JBBF国内宣教委員会委員長・榎本昌博)

教会独立の恵み

カルバリの丘バプテスト教会
牧師 藤沢 幸人



2004年4月25日に最初の礼拝を主にお捧げして以来、15年を経て、今年の4月8日にカルバリの丘バプテスト教会として独立することができました。何よりもまず、ここまで守り、支え、お導きくださった主に感謝いたします。

最初のメンバーは指導者が無く、信徒だけの礼拝でしたので、当初は礼拝をおささげできれば感謝だと思っただけでも、しばらく経つと、霊的な指導者が必要であると気づかされました。しかし、来ていただけの伝道者に心当たりは無く、千葉教会を牧会しておられた望月次郎師に相談しました。望月先生は、さまざまにいらっしゃる羊の群れを気にかけてくださり、救いの手を差し伸べて、千葉教会の伝道所としてくださいました。

伝道所は、教会堂と専任の伝道師を祈り始めました。そして、西原智彦師（現・八王子教会牧師）が与えられ、先生の建築の賜物によって、現在の場所に会堂を建てることができました。先生によって教会としてのかたちが整



授手礼式に集われた諸教会の先生方

えられて行きますが、同時に様々な試練もあり、西原先生は退任されます。それから2年半、無牧の中で、伝道師を求める祈りが再開されました。そして2014年に藤沢伝道師が与えられます。

しばらくして、約10年間ご指導いただいた望月師が天に召されましたが、石川安義師がご指導を継続してくださいました。伝道所は教勢も次第に伸びて来ましたが、藤沢師を牧師として招聘するには、更に2年の神学校での学びが必要であると分かりました。伝道所は再び祈り始め、伝道所の全面的な祈りと支援、神学校の協力があって、71歳の藤沢師は卒業することができました。去る4月8日は授手礼式、教会独立式、牧師就任式が行われるという忙しい日となりました。JBBFの理事長に再任されたばかりの石川安義師

が全てをプロデュースしてください、清水教会の道下常弘先生は、藤沢師を励まし続けながら授手礼の学びの労を丁寧と執ってくださいました。

当日は、藤沢師の8年にわたる神学校の教師と同僚の先生方、国内宣教カンファレンスで祈ってくださいました先生方、出身教会の横浜教会で祈り続けてくれた兄弟方、母教会の千葉教会で支えてくださった兄弟方、望月先生の奥様の年先生、そして、くじけそうになる私たち夫婦を支え続けてくれたカルバリの丘教会の兄弟たち、多くの方々でいっぱい教会堂で、教会独立の式典を行うことができました。これまで支え続けてくださった主のお導きに感謝いたします。それから、もうすぐ3か月が経とうとしていますが、2年ぶりに、2名のバプテスマの決心者が与えられて、現在準備中です。皆様のお祈りを心から感謝いたします。



カルバリの丘教会の外観

日本宣教への思い

小倉聖書バプテスト教会 牧師・宣教師 ケネス・ボード



私の日本への思いは、聖書の三つの箇所に基づいています。まず、テモテへの第一の手紙一章一二節には、「私は、私を強くしてくださいさる私たちの主キリスト・イエスに感謝をささげています。なぜなら、キリストは、私をこの務めに任命して、私を忠実な者と認めてくださったからです」と書かれています。神様は、私に日本で伝道する機会を与えてくださいました。私はこの機会を感謝しています。私にとって日本宣教は義務ではありません。私の特権です。すべての日本人を愛しておられる神様は、私に日本人の魂を愛する心を与えてくださいましたから、私はJBBFの宣教師と牧師と共に日本宣教に加わる機会を喜んでいきます。

もう二つの箇所は、詩篇一二六篇五(六節と、ガラテヤ人への手紙六章一〇節です。「涙とともに種を蒔く者は喜び叫びながら刈り取ろう。種入れをかかえ、泣きながら出て行く者は、束をかかえ、喜び叫びながら帰って来る」。「善を行なうのに飽いてはいけません

ん。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取るようになります。」
確かに、日本宣教は私が想像したよりも遙かに難しいですが、不可能ではありません。小倉教会の伝道の結果は多くの場合私が望んでいるものではありません。しかし、色々な方法で福音の種を蒔き続けられれば、その種は良い地に落ちます。



イースター集会

小倉教会の伝道のビジョンを説明する箇所は、テモテへの第二の手紙四章二節です。「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら責め、戒め、また勧めなさい」これから私たちは、特に二つの伝道に力を入れるつもりです。まず、子ども伝道です。いま日曜日のキッズバイブルクラブに来ている子どもたちは一人を除いてクリスチャンホームの子どもばかりです。多くのチラシを配っても近隣の子どもたちは来てくれません。しかし、イベント等のチラシ配布をした時は集まります。四年前から小倉教会と一緒に働いているワイエット宣教師夫人のクリスティー先生は、年に数回の楽しいイベントを計画してください



小倉教会の外観

ます。その時、子どもたちの保護者も来るので、彼らに福音を伝える良い機会になります。

もうひとつは「宣伝伝道」です。小倉教会は一年半前に新しい場所に移転しました。主要道路から見えない場所にあるため、いろいろな方法(チラシ、ホームページ、看板の設置等)を通して、教会の存在を小倉南区と荊田町にいる皆さんにお知らせする予定です(上記の三項目は実行中)。「私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が主にあつてむだでないことを知っているのですから」(第一コリント一五章五八節)。



国内宣教カンファレンス2020

JBBF全体拡大会議 (仮称)



JBBF全体拡大会議 (仮称) 実現のために!

毎年1月に開催されている国内宣教カンファレンス。来年2020年のみフェローシップの将来を語り合う、理事会、神学校、海外宣教委員会、そして国内宣教委員会合同の集まりを企画しています。フェローシップの歴史は70年を数え、拡大し、多くの働きをなしてきましたが、国内の少子高齢化とともに教会の高齢化、後継者不足、無牧教会、伝道の不振など様々な課題を抱えています。しかし、残念ながらこうした問題を共に協議する機会がありませんでした。そこで、JBBF理事会のご理解とご推奨をいただき、次回の国内宣教カンファレンスを上記の「JBBF全体拡大会議 (仮称)」に変えて、全国の牧師、宣教師、伝道師を集めて、共に将来を語り合う時を持ちたいと思っています。フェローシップ諸教会の皆様、可能であれば経済的に苦戦している牧師や伝道師たちが負担なく参加できるように参加費と交通費を全面的にサポートしていきたいと思っています。ぜひこのための指定献金をお寄せくださいますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



〈お詫び〉 来年1月は日程の並びが悪く、施設の利用開始日が後ろに移動したため、子供たちの学校が始まった時しか施設利用ができず、いつものカンファレンスのように牧師・伝道師の子供たちの参加が見込めず、同時に夫人たちの参加も減少すると見込まれます。そこで今回のみ上記の企画をしました。子供集会はなく、女性の集会のみ並行して行いたいと考えています。

JBBF国内宣教委員会
 献金振込先 (郵便振込)
 00140・2・654375

日 程： 2020年1月9日(木)・10日(金)
 場 所： 静岡県富士宮市「朝霧野外活動センター」
 対 象： JBBF諸教会教役者および夫人・婦人伝道師
 主 催： JBBF国内宣教委員会

※参加費およびサポートは検討中です

